

住民説明会結果表（質疑応答を中心に）	
開催日時	平成21年9月9日（水） 19:00～20:45
会場	吉良町立荻原小学校 体育館
来場者数	160人
質 疑 応 答 の 要 旨	
Q	合併については、今回がラストチャンスである。今回、合併に乗り遅れたら将来に禍根を残すので、4市町で足並みを揃えて合併はすべきである。次に住民投票はやるべきではない。合併が1対1で行うのではなく、4市町で行うのでやめてもらいたい。次に吉良町の名称にこだわらずに進めてもらいたい。次に合併で支所になるなら新庁舎を建設するよりも現施設の防災施設整備をしてもらい。そして、吉良町は3町の真ん中であるので防災の拠点としてグランドデザインの中に取り込んでもらいたい。最後に電算システムの移行をスムーズに行ってもらいたい。
Q	税金は少なくなるほうがありがたい。メリット・デメリットはあるようだがどうなる。
A	税金は西尾市の例によることになると思う。様々な税金でほとんどは変わらないが、都市計画税は上がることになると思う。
Q	新市の財政の資料を見ると財政的にやっていけないのではないか。合併しないほうがよいのでは、単独でやってほしい。
A	資料にある将来の数字は人件費などの削減を図った上で、投資的経費のお金が捻出できる。
Q	意向調査の内容をどのくらい尊重するのか。
A	1市3町で行っていくもので5%の方に実施していく。そこでの結果はどういうことが不安かなどの意見を汲むことができる。
Q	議会で合併は決まる。そこで否決されれば吉良町の合併はない。首長さんたちはまるで決定であるような発言である。決まっているのか。
A	1市2町での合併はないとしたい。
Q	吉良町が否決した場合、1市3町全体の協議が破綻し合併が全てなくなるのか。
A	現在は足並みを揃えて行っていくことにしている。仮に吉良が抜けた場合、合併を1市2町でやるかどうかは我々が言えることでない。
Q	9月1日号の合併に関する記事は発言が慎重だったのに方向性が変わった今の発言とどちらが本音なのか。

- A 合併は賛成である。先程の方が言ってくださったことはうなずきながら聞いていた。
- Q 町長は公約で住民が十分納得いく方向で合併する、住民投票ということも言っていたが、こんなに早くしかもアンケートということで、本当に住民に対して十分な説明することなくおこなうのはいかがなものか。
- A 期限が決まっているので意向調査はゆっくりはやっつけられない。その点は、ご理解してもらいたいと思う。
- A 今回の意向調査は法定協の立ち上げのための調査である。新市基本計画ができれば住民説明会は再度行う。
- Q 私が調べたところ合併して国保税が上がったと聞いている。住民のためになっているのか。
- A 国保税は、個々の条件により変わるため、それぞれ計算をしてみないとわからない。ただ、平均的な家庭を想定したシュミレーションでは西尾市の方が安くなった。
- Q 都市計画区域内農地は100倍くらいのうちが上がるのでは。
- A 質問は生産緑地の関係でよろしいか。新市になっても市街化区域内農地は納税猶予の対象となる。このことは合併プロジェクトチームから税務署に確認済みである。
- Q 町職員にすれば死活問題では。大変な辛辣をなめるのでは。
- A 事例では、合併でやめる職員もいるが、法的には一般職は保障されている。
- Q 合併の時期は見直してはどうか。今回、1年延びた経緯も住民のことを考えず決まったのは、政治的な思惑で決めているのではないか。また、新設が編入に変わった理由はなぜか。
- A 平成15年のときはこの議論をして破綻した。今回の話は一色・幡豆ともに編入でいいといったから始まった。その中で吉良町は慎重に行こうと話した。また、22年3月末はとてできないという意見も多かった。そして、1年合併が延びたことで何とかできるかもという状況になった。
- Q 議会も合併を推進しているのか。
- A 全員協議会で話したわけではないが個別に話したときは良い感触であった。議員の皆さんもいらっしゃるのでご意見を伺いたい。